



冷たい沢を遡ったその先に
そのカツラの巨木は立っていました
ずーっとずーっと昔から
カツラはそこに立っていました

氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



タラの芽

今年はいつもより春が早くやってきました。育ち過ぎたタラの芽は、食べられないけどシルエットがきれいだということに気づきました。

チョウの調査に挑戦中

4/14 キタキチョウ
モンキチョウ
スギタニルリシジミ
4/28 ルリシジミ
アカタテハ

早いな！

4/ 2 シマヘビ
マムシ
4/18 ニリンソウ(花)
サクラ(散りかけ)

春の花に和む

3/29 セリバオウレン
スミレの仲間
フサザクラ
4/18 ヤマエンゴサク
ショウジョウバカマ





昆虫の子育て

東因幡林道で見つけた ハサミムシと卵



ハサミムシの成虫



来館者の方が持ってこられたタガメ



ツチカメムシの成虫
(写真：中村 裕平)



ハチの仲間は大きな巣の中で
集団で子育てをします



今年の春、東因幡林道に行った時のことです。ふと石をめくってみると、そこにはハサミムシの姿と白い小さな卵がありました。最初は、ハサミムシが何か別の虫の卵を食べようとしているのかと思ったのですが、よく観察していると一粒一粒卵を運んでいるではありませんか。これ、もしかして私が石をめくったから、あわてて我が子を守ろうとしているお母さんハサミムシなのでは…？ そう思い、そっと石を戻しました。

響の森に帰って調べてみると、やはりハサミムシは子育てをするとのことでした。卵にカビが生えないように一つずつ丁寧にめたり、空気にあてるために卵の位置を動かしたりと、甲斐甲斐しくお世話をします。やっぱり、私が見たのは子育て中のお母さんハサミムシだったようです。

ハサミムシにも、様々な種類がいるようです。中でも、日本に住むコブハサミムシには面白い習性があります。コブハサミムシは、お母さんが卵を産んでから孵化するまでの40日以上、ごはんを食べる間も惜しんで卵のお世話をします。そして、苦勞して育てた卵が孵化すると、なんと幼虫たちに食べられてしまうのです。この習性、人間の私からするととても残酷に思えます。しかし、子どもたちが生まれて間もなく餓死してしまうと、せっかく産み育てた苦勞が水の泡。コブハサミムシは

1年間しか生きられないので、卵を産むのも人生で1回のみです。そのため、生まれた子どもたちにわが身を差し出す方が、効率よく自分の遺伝子を残すことができるのです。

昆虫の多くは、子育てはしない産みっぱなしスタイルをとるものがほとんどですが、少数派ではあるものの、子育てをするという選択をした昆虫たちを紹介したいと思います。

カメムシの仲間は、子育てをする種類が比較的多いです。田んぼなどの水辺に棲み、魚やカエルも食べる大型の水生昆虫タガメは、オスが子育てをすることで知られています。タガメは、メスが水辺の植物の茎や壁の水没しないところを選び産卵します。そのあと、オスにバトンタッチして子育てが始まるのですが、タガメの卵は水没すると酸素不足で死んでしまい、乾燥しても死んでしまうというとてもデリケートなものです。天敵も多く、卵を狙いに来るアリなどに、あの嫌なカメムシ臭を吹っ掛けて撃退することもあります。日光や様々な天敵から卵を守るため、孵化するまでの数週間、四六時中管理をします。なんて健気なお父さんなのでしょう…。

他にも、ツチカメムシという地面に巣をつくるカメムシの仲間は、子育て中のメスが面白い行動をします。ツチカメムシのメスは卵を産んだ後、約10日間じっと卵塊を抱え天敵

から卵を守り、幼虫の赤い眼が卵の中から透けて見られるようになると、卵塊を抱えたまま体を揺らし始めます。このようにして安全な時を見計い、振動で出てくるタイミングを知らせているのだそうです。手足を器用に使い、自分の体を細かく揺らす様子は、卵に何か話しかけているように見えます。揺らし始めて数分後、幼虫が次々に孵化をします。そして、孵化した直後、幼虫の最初の餌として「栄養卵」という体内で特別につくられた卵を産み、幼虫に与えます。卵が孵化するまでの10日間、飲まず食わずで世話をするので、栄養卵を産むのも大変なことでしょう。

ここでは紹介しきれませんでしたが、他の子育てをする昆虫たちも、子どもを無事に巣立たせるために様々な工夫を凝らしています。生まれたばかりの卵や幼虫たちは体が柔らかく、食べようと狙っている天敵も多いです。子どもを産み育てるのは、どんな動物でも本当に命がけなのだなあとしみじみ感じます。

これから夏になり、昆虫に出会う機会が増えると思います。野山で昆虫を見かけたら、よく観察してみてください。もしかしたら、甲斐甲斐しく子育てをしている昆虫のお父さん・お母さんに出会えるかもしれません。(實延)

Special Issue

あんなこと、こんなこと



親子自然研究クラブ 「イモリの『溝の』調査」 4/15㊥



悪天候のため当初の予定を変更し、溝の生きもの調査をすることにしました。フィールドノートの書き方を説明した後、雨の中、溝の生きものを捕まえて来て、研修室で図鑑や顕微鏡を使って名前調べをしました。調べた後はノートに記録。イモリ調査でするはずだったイモリの身体測定もしてみました。身近な自然を調べて記録、お家の周りでもやってみてくださいね。



森のようちえん+ (プラス) 4/23㊥



今年の響の森は「棚田」推しということで、春の棚田をお散歩してきました。わさわさ出ているツクシを観察したり、その昔生息していたというドジョウを探してみたり。なかでも子ども達はコゴミにマヨネーズをかけて食べることに大ハマりの様子で、マヨネーズかけ係のスタッフは大忙し。棚田の脇を流れる小川でも生き物探しを楽しみ、棚田の魅力が存分に発揮された1日でした。



ネイチャーキッズフェスティバル 「ポップコーンをつくろう」 5/3㊥㊦～7㊦



子どもも大人も大好きポップコーン！材料を入れたアルミ皿を炭火にかけ、しばらくするとポンポンとはじける音とともに香ばしい匂いが漂い始め、みんな釘付けです。ふたを開けた時には「わぁ～」という歓声が上がり、「おいしい！」ってパクパク食べてあっという間に完食。「家でもできそう」と話したり、「お代わり！」と再度作られたりする方もいました。



響の森インタープリターのイチ押し情報

エントランスホール「釣りコーナー」



「森の小さな水族館」を眺めて、「釣ってみたいよな～」と思ったそこのあなた！響の森には釣り堀もありますよ！！実物大の写真パネルを磁石付きの釣り糸で釣り上げます。さかな一覧表もあるので、自分が何を釣り上げたのか調べることもできます。

Highly Recommended



クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

4月～5月の活動内容

- クルーミーティング(13)
- チョウのモニタリング調査(13)
- 自然ふれあいロード環境整備(4)
- ネイチャーキッズフェスティバルお手伝い(4)
- 親子自然研究クラブ補助(1)
- 植物情報、写真提供(2)

()は延べ人数

クルーミーティングで交流を深めました



クルーミーティングの様子

クルーを随時募集しています！
お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで！

第一回クルーミーティングと題し、レクリエーションなどでクルー同士の交流を深める活動や、チョウのモニタリング調査の勉強会を行いました。楽しく活動した後、アヒージョでおなかを満たし楽しい一日となりました。響の森では新しいクルーをどんどん募集しています。氷ノ山や自然が好きなそこのあなた！響の森と一緒に活動してみませんか？

Activity Report

イベントカレンダー 2023年 7月～8月

7月	1日⊕ 8/31日⊕	いつでも作れるコーナー ・森の木バッジ	土日祝 (夏休み 期間中 毎日)
	2日⊕	三ノ丸登山	
	15日⊕ 8/27日⊕	夏の企画展 「おてんき展覧会」 様々な雲形、夕焼けや虹など風景 として美しい気象現象の要因やメ カニズムを写真と解説で展示しま す。身近だけど意外と知らない気 象の世界の魅力をお伝えします。 会場 響の森 イヌワシホール 料金 無料	
			
	17日⊕	夏の企画展 特別企画 「お天気ワークショップ」 【講師】佐々木 恭子氏 (気象予報士) 【時間】10:30～12:00 要事前予約 【料金】500円 【定員】6組 (小学生以上の親子)	
		夏の企画展 特別企画 講演会 「空や雲を楽しみながら 地球の未来を考えよう」 【講師】佐々木 恭子氏 (気象予報士) 【時間】13:30～15:00 【料金】無料 【定員】50名 事前予約 優先	
	23日⊕	川のようにちえん+(プラス)	
	29日⊕	親子自然研究クラブ 「磯の生き物観察」	

8月	5日⊕	スペシャル観察会 「昆虫観察」	
	11日⊕	親子自然研究クラブ 「ザトウムシの観察」	
	11日⊕ 13日⊕	お盆企画 創作体験 「昆虫を作ろう」 【時間】10:00～15:00 【料金】300円 (1個) 【定員】各日20名 随時受付	
	20日⊕	森のようちえん+(プラス)	



Recommended Books 森のオススメ本

水のいきもの かいかたそでてかた

響の森魚部長が小さい頃に読んでいた本。メダカ、ザリガニ、カエル、カメなど身近な生き物の飼育方法が、種類ごとにわかりやすく描かれています。飼育の方法だけでなく、その生き物の生態についてもしっかり描かれています。特筆すべきは、全ページ温かみのある絵で生き物が描かれているので、絵本感覚で読める点！魚部長を育てた一冊、この夏の生き物飼育のお供にいかがでしょうか？

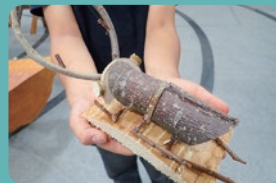


【文】浅井ミノル 【絵】浅井桑男、松原巖樹
【出版社】岩崎書店 【定価】1,650円 (税込)

Information

イチ押しイベント

お盆企画 創作体験 「昆虫をつくろう」



胴体に使えそうな太い枝、触角や脚になりそうな細い枝など色々な材料を用意します。これらを組み合わせて本物そっくりな昆虫を形作るもよし、もしくは「こんな虫がいたら面白そうだな～」と頭の中でイメージした虫を表現してみるもよし、何を作るかはあなたの思いを表現してみてください!!

お問い合わせ TEL (0858) 82-1620

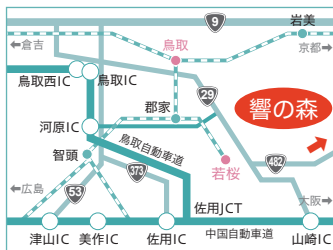


(一財) 鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくね635-175
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/



休館日	4月～9月	10月・11月	12月～3月
	月曜日	月・火曜日	月～水曜日
	夏休み 期間中は無休		12/29～1/3
祝日の場合は翌日休			



編集後記

今年の夏は上を向いて、空を雲を見よう！
奇跡の風景が現れるかも(高橋) 暑いのは苦手なので、毎日沢に行って涼みたい。沢のご予約お待ちしています(岡田) 今年は魚部長兼棚田隊長の私ですが、知れば知るほど棚田も農業も面白い(佐々木) 夏はいっぱい汗をかいてもっと痩せたいと思います！沢も山も楽しむぞ～！(寛延)